

北千住 駅東口周辺地区

第13号 令和元年6月

まちづくりだより

【発行・問い合わせ先】

足立区 都市建設部 市街地整備室
まちづくり課 千住地区係

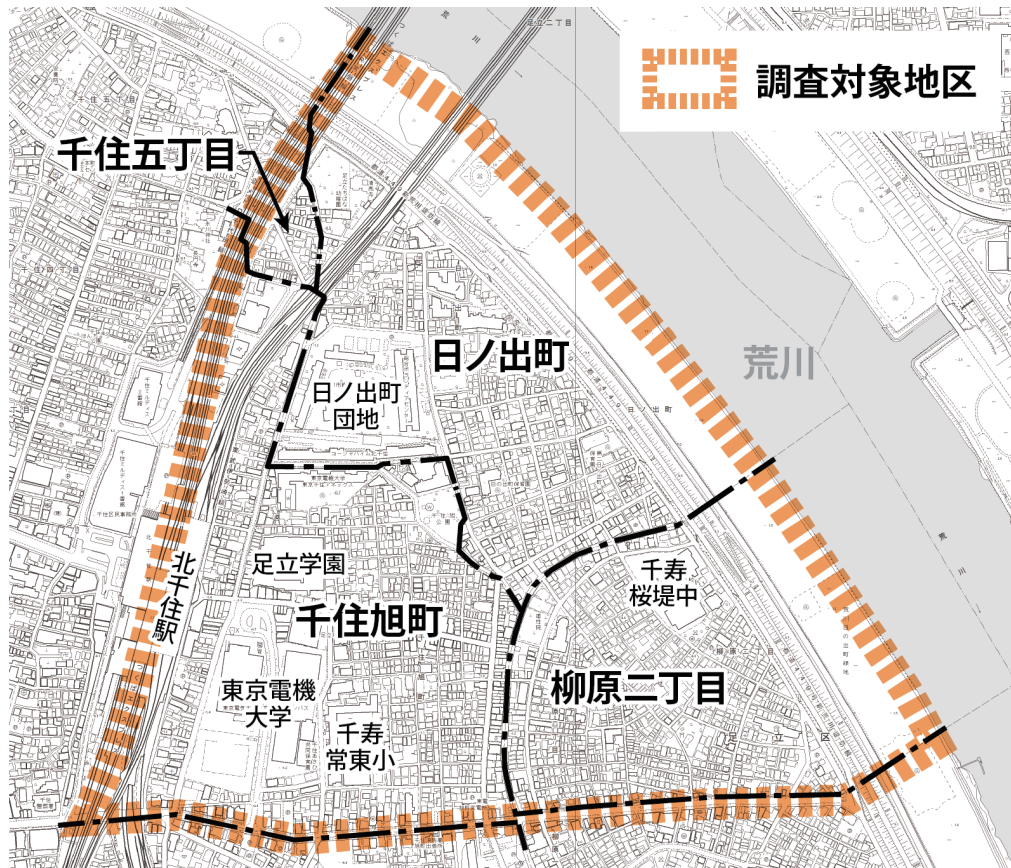
〒120-8510 東京都足立区中央本町1-17-1
電話：03-3880-5424（直通）／ FAX：03-3880-5605
メール：senju-machi@city.adachi.tokyo.jp

アンケート及び交通量調査の結果報告

「北千住駅東口周辺地区まちづくり構想※」の見直しを進めるため、さまざまな調査・検討を行っています。

この度「区域内居住者アンケート」「区域外区内居住者アンケート」「北千住駅来街者アンケート」「交通量調査」の4つの調査が終了しましたので、結果の概要をお知らせします。

※北千住駅東口周辺地区のまちづくりをどのように進めていくかという方針



なお、調査結果の詳細につきましては、お電話（03-3880-5424）

または、メール（senju-machi@city.adachi.tokyo.jp）をいただければ、お送りいたします。

ホームページにも掲載しておりますので、是非ご覧ください。

(<https://www.city.adachi.tokyo.jp/machizukuri/machikousou.html>)

1. 区域内居住者アンケート

調査概要

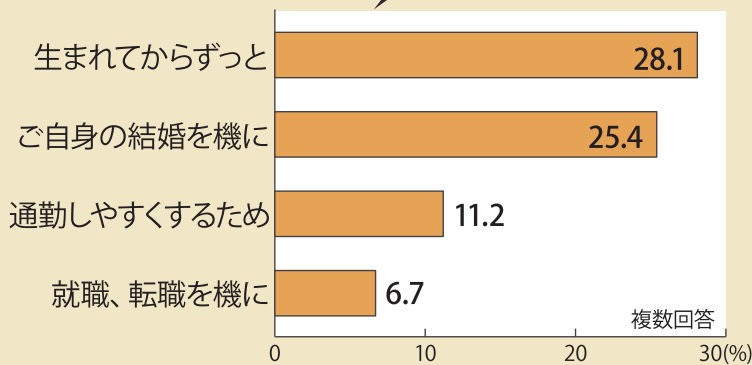
目的: 対象区域内居住者の現況・将来に対するご意見等の把握
対象: 対象区域内に居住する18歳以上の区民から無作為に抽出した4,000人
方法: 対象者に郵送配布、記入後に区宛ての郵送にて回収
期間: 平成30年11月～12月
回答数: 1,289人 約32%

回答者の年齢	
20歳未満	0.9%
20歳代	6.9%
30歳代	14.3%
40歳代	18.5%
50歳代	15.9%
60歳代	19.4%
70歳以上	23.2%
無回答	0.9%

※棒グラフの選択肢は特徴的なものを表示 (以下同様)

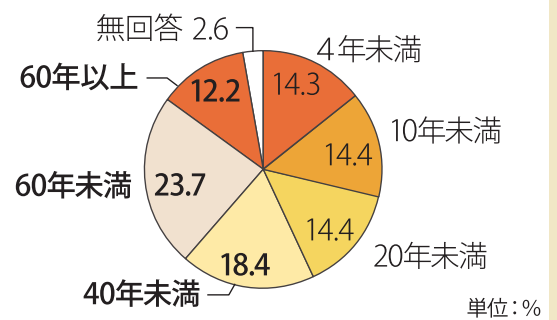
A. 住むことになった理由と居住年数について

現住所に住む理由は交通利便性の高さから



この地で生まれ育った方が3割を占めるが、交通利便性の高さから移転してきた方も多い。

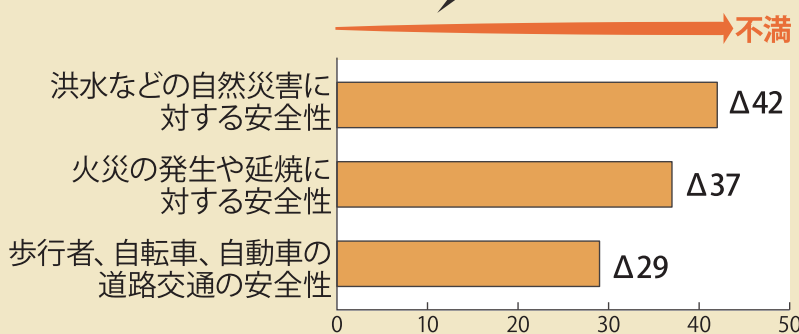
居住年数は長期間の方が多



居住年数は、20年以上が5割強と、長期間居住者が多い。

B. お住まいの住環境の評価と居住継続意向について

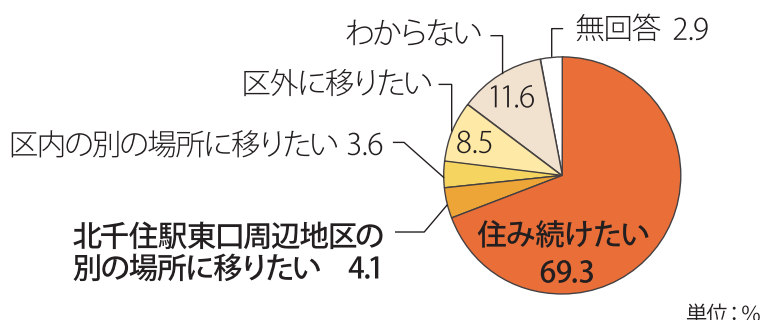
住環境への不満は災害に対する不安や交通の安全性に集中



現在の住環境に関する満足度を指標化すると、災害や交通の安全性に関しては、マイナスの評価(Δ)となっている。

年齢別にみると「買い物のしやすさ」は30～50歳代、「子育てのための施設の整備」は20～30歳代の満足度が低くなっている。

居住意向は「住み続けたい」とお考えの方が多

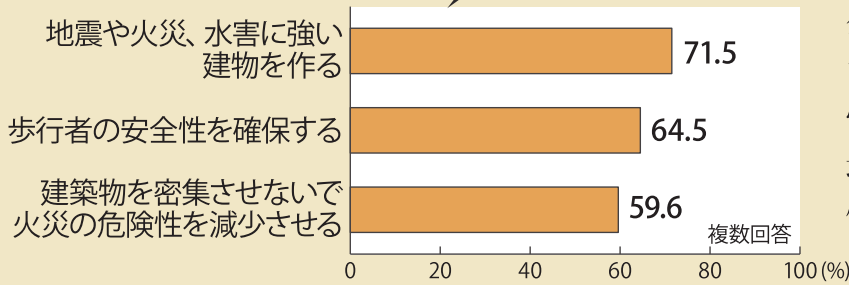


今後の居住継続に関しては、7割強の方が住み続けたいと考えている。

移転したいとする方の理由は「住宅が古い・狭い」「家賃が高い」「買い物に不便」が多い。

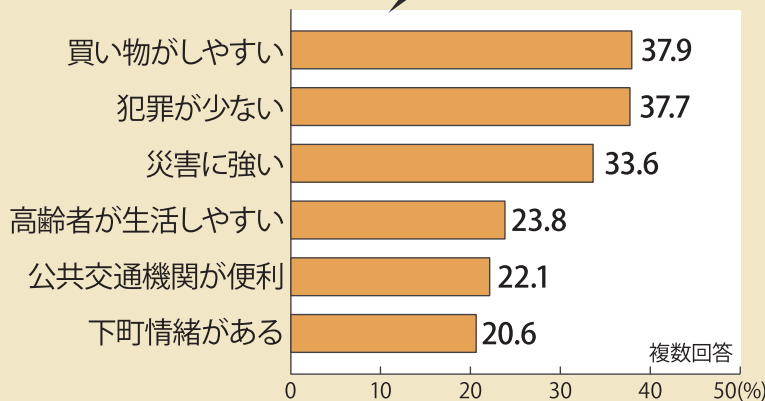
C. 将来の北千住駅東口周辺地区について

公共施設や既存建築物の建替等に強く望まれているのは災害への対策や交通の安全性



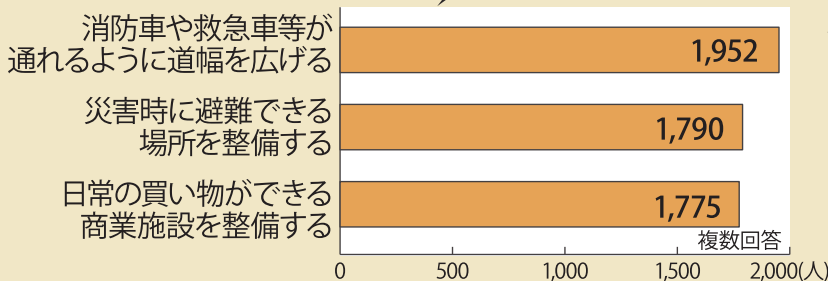
公共施設や既存建築物の建替等にあっては、災害への対策や交通の安全性が強く望まれている。地域別に見ると、「柳原二丁目」はこの傾向が強い。

将来望まれるイメージは安全・利便・やさしさが中心



将来望まれる北千住駅東口周辺地区のイメージは、「安全なまち」「利便性の高いまち」「高齢者にやさしいまち」「下町らしさのあるまち」となっている。年齢別に見ると「買い物がしやすい」は20歳代、「高齢者が生活しやすい」は70歳以上、「下町情緒がある」は20歳代でそれぞれ割合が高い。

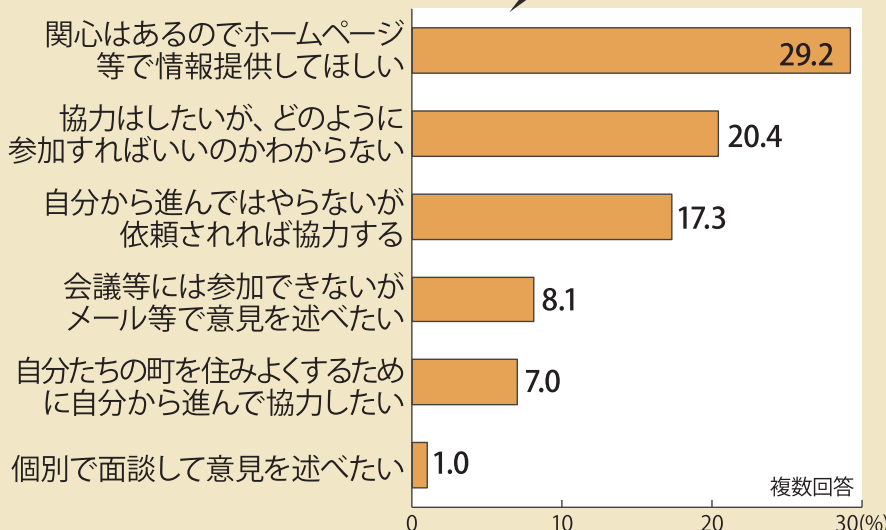
今後取り組んでほしいことは日常生活における安全性や利便性の向上



今後取り組んでほしいことは、緊急時や災害時の対策、商業施設の整備など、日常生活の安全性確保や、利便性が望まれている。

D. まちづくりへの参加について

まちづくりへの参加意向と関心は高い



まちづくりに対しては、「何らかの形で参加したい」と考える方が多い。また、情報提供を望む声も多い。

このアンケートの詳しい内容もホームページで公開中だよ！



2. 区域外区内居住者アンケート

調査概要

目的: 対象区域外の区民の構想地区の現況・将来に対するご意見等の把握
対象: 対象区域外に居住する18歳以上の区民から無作為に抽出した2,000人
方法: 対象者に郵送配布、記入後に区宛での郵送にて回収
期間: 平成30年11月～12月
回答数: 601人 約30%

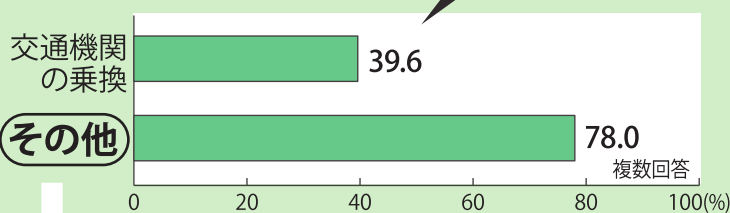
回答者の年齢	
20歳未満	1.5%
20歳代	6.7%
30歳代	14.1%
40歳代	21.3%
50歳代	18.8%
60歳代	18.6%
70歳以上	18.5%
無回答	0.5%



※棒グラフの選択肢は特徴的なものを表示 (以下同様)

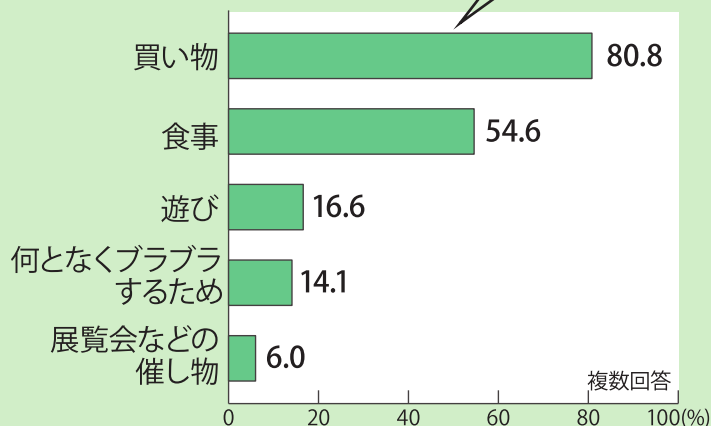
A. 北千住駅へ行く目的と滞在時間について

目的は交通機関の乗換と買い物・食事・娯楽

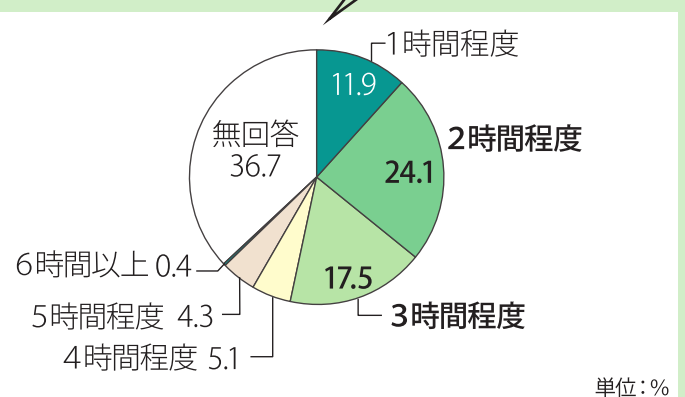


北千住駅へ行く目的は、交通機関の乗換・買い物・食事・娯楽が多い。

その他の目的の内容



その他の目的の方の滞在時間は2～3時間

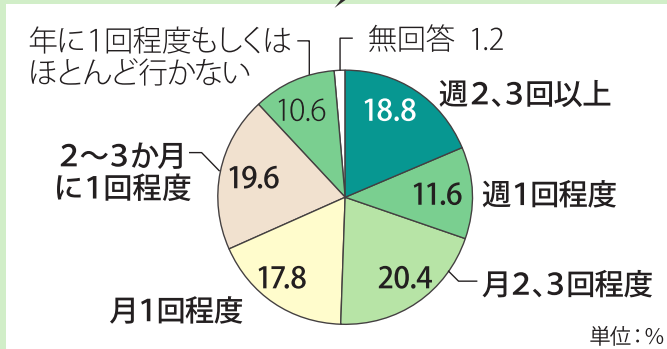


北千住駅周辺での平均滞在時間は、2～3時間との回答が多い。

区域外区内居住者アンケートの主要な結果は以下のとおりです。これらのご意向等を踏まえて、区民の生活の中心として、より賑わいと利便性が高い地域としていくため必要な機能育成と利用しやすい環境整備が必要だと考えています。

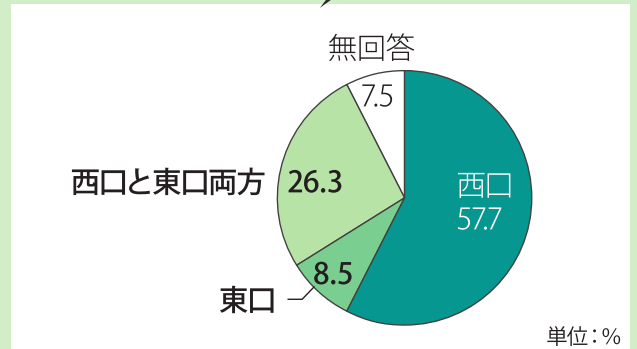
B. 北千住駅への来街頻度と目的地について

北千住駅周辺は区民の生活の中心的な場所



北千住駅を訪れる頻度は、1年間に5、6回以上の方が9割弱を占める。

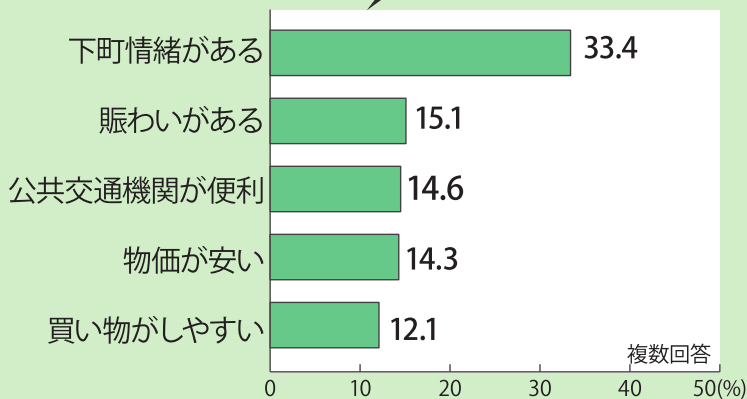
北千住駅東口を訪れる方は3割強



駅出口別の目的地は、東口（「東口」と「西口と東口両方」を合わせて）が3割強となっている。

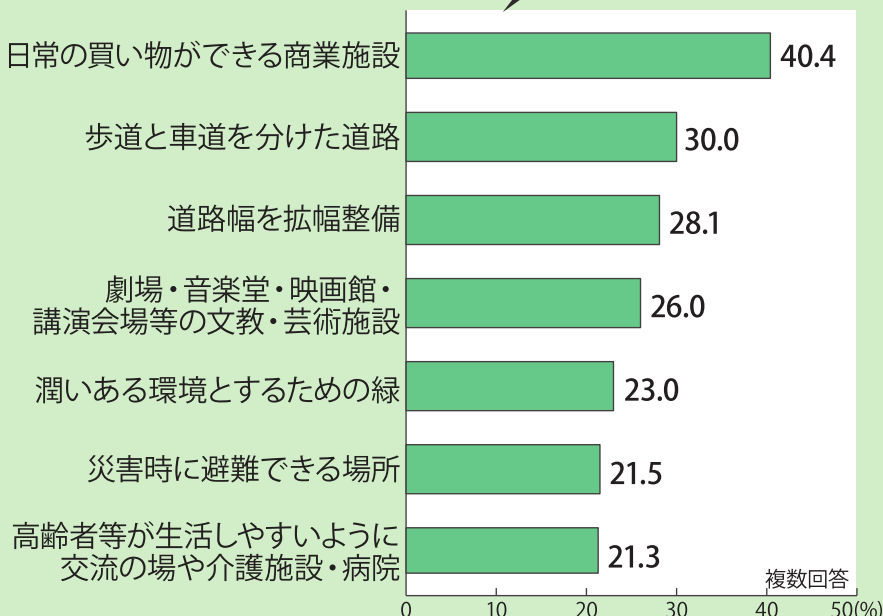
C. 地域のイメージと充実を望むものについて

北千住駅東口の現在のイメージは下町・賑わい・便利



現在の北千住駅東口は、下町情緒に加えて、賑わいと利便性の高いまちとしてイメージされている。

生活や活動を支える機能や施設の充実が望まれている



北千住駅東口で将来充実すべきものとして、利用者の生活を支える機能や、施設が幅広く望まれている。広域的な拠点としての役割に関する項目では「劇場・音楽堂・映画館・講演会場等の文教・芸術施設」が比較的高い割合を占めている。

3. 北千住駅来街者アンケート

調査概要

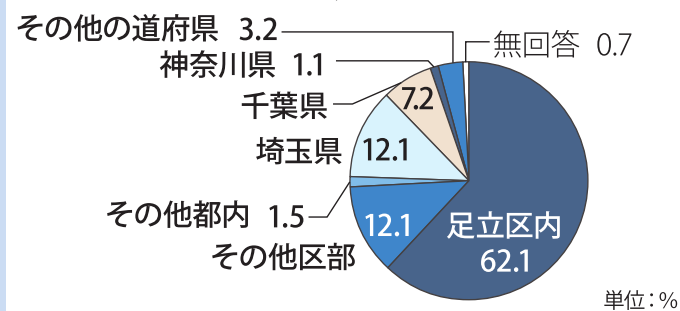
目的: 北千住駅来街者の構想地区の現況・将来に対するご意見等の把握
対象: 北千住駅2階中央改札口のスペースの通過者
方法: 対象者に直接調査協力を依頼、その場でアンケート用紙に記入後回収
期間: 平成30年12月14日(金) 11:00~19:00 / 12月16日(日) 11:00~18:00
回答数: 906人

回答者の年齢	
20歳未満	5.6%
20歳代	6.5%
30歳代	13.7%
40歳代	19.8%
50歳代	17.0%
60歳代	18.0%
70歳以上	19.2%
無回答	0.2%

※棒グラフの選択肢は特徴的なものを表示(以下同様)

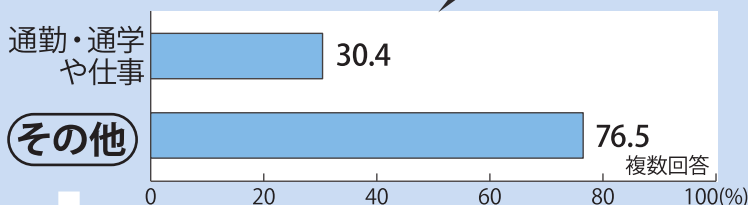
A. 北千住駅へ来る方の住所と目的・滞在時間について

広い範囲から多くの方が訪れる北千住



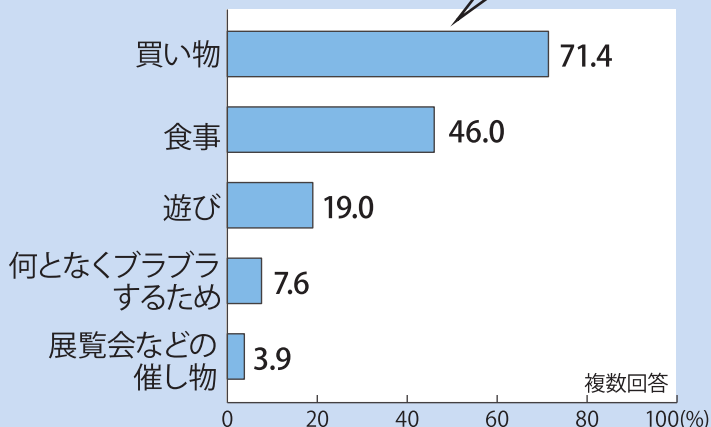
北千住駅には、関東以外では高知県、京都府、大阪府、新潟県など、広い範囲から訪れている。

目的は通勤・通学や仕事、買い物・食事・娯楽

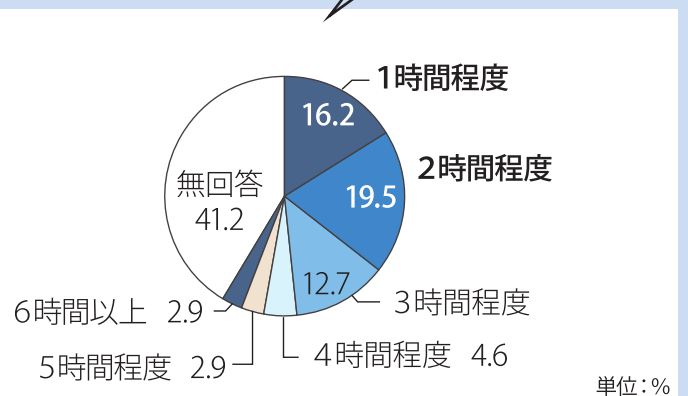


北千住駅へ来た目的は、通勤・通学や仕事と買い物・食事、娯楽とする方が多い。

その他の目的の内容



その他の目的の方の滞在時間は1~2時間

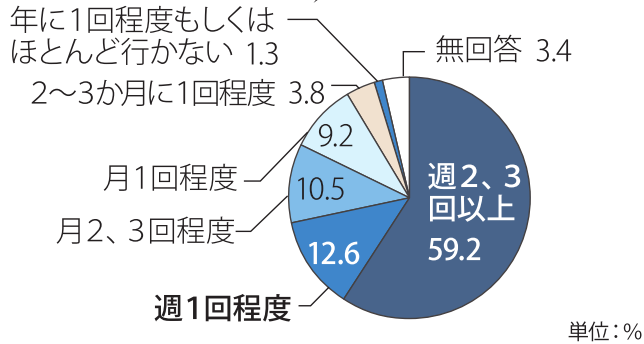


北千住駅平均滞在時間は、区域外区内居住者アンケートに比べ少し短い1~2時間との回答が多い。

北千住駅来街者アンケートの主要な結果は以下のとおりです。これらのご意向等を踏まえて、区民の生活の中心のみならず広域の中心として、賑わいと利便性を高めるとともに利用しやすい環境整備が必要だと考えています。

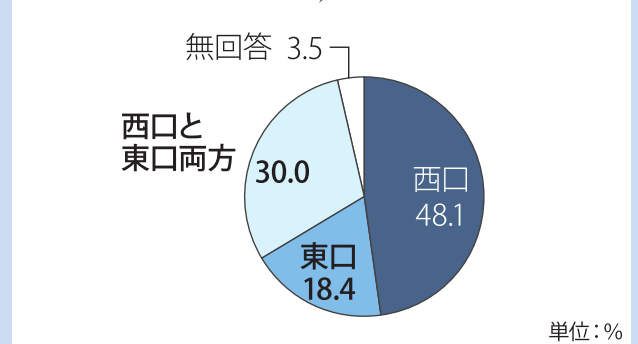
B. 北千住駅への来街頻度と目的地について

週1回は訪れるという方が7割超え



北千住駅を訪れる頻度は、週1回以上訪れる方が7割強を占め、区域外区内居住者アンケートに比べ高い。

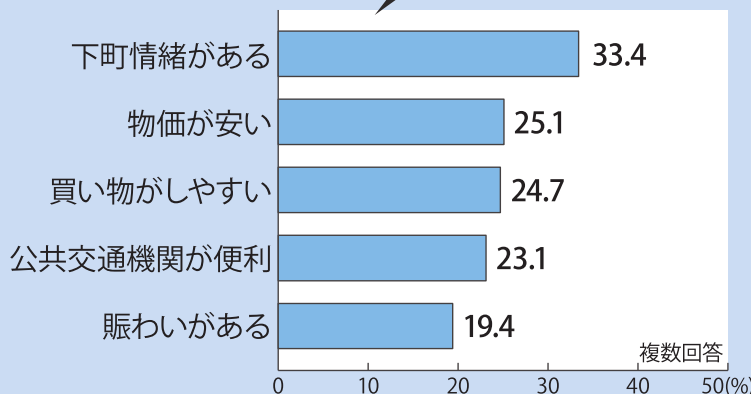
北千住駅東口を訪れる方は5割弱



駅出口別の目的地は、東口（「東口」と「西口と東口両方」を合わせて）が5割弱となっている。

C. 地域のイメージと充実を望むものについて

北千住駅東口の現在のイメージは下町・便利・賑わい



現在の北千住駅東口は、区域外区内居住者アンケート同様、下町情緒に加えて、賑わいと利便性の高いまちとしてイメージされている。

生活や活動を支える機能や施設の充実が望まれている



北千住駅東口で将来充実すべきものは、区域外区内居住者アンケート同様、利用者の生活や活動を支える機能や施設が幅広く望まれている。広域的な拠点としての役割に関する項目では「劇場・音楽堂・映画館・講演会場等の文教・芸術施設」が比較的高い割合を占め、区域外区内居住者アンケートと比べ若干高くなっている。

4. 交通量調査 (歩行者・自転車・自動車)

調査概要

目的: 北千住駅東口周辺の交通状況の把握

対象: 区域内及びその周辺の14地点

期間: 平成30年10月14日(日)・10月16日(火)

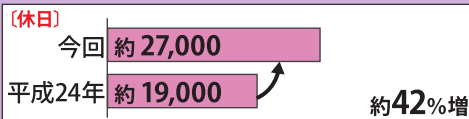
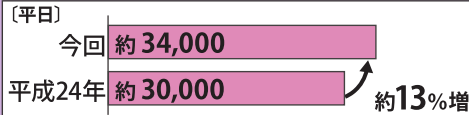
時間: 7:00~22:00 [15時間調査]

※駅東口の階段・エスカレーターは4:30~1:30調査、その他の地点は7:00~22:00調査

わぁ!
北千住駅東口の
まちを訪れる人が
増えてるね!



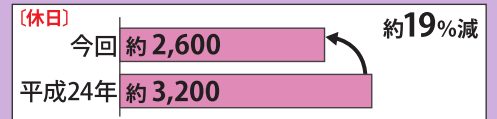
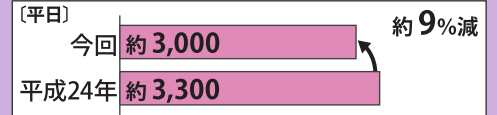
駅前交差点の歩行者交通量



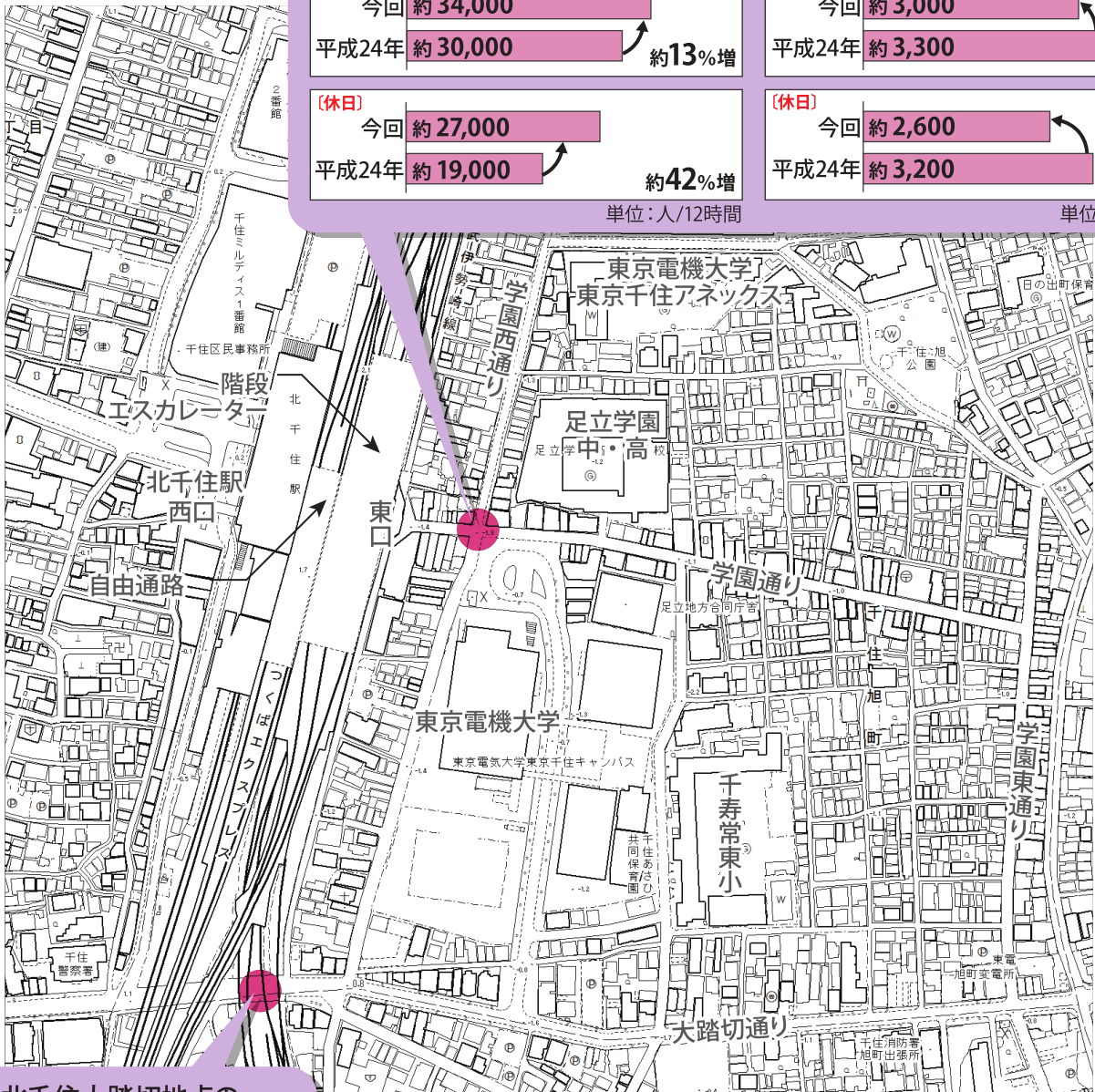
単位: 人/12時間



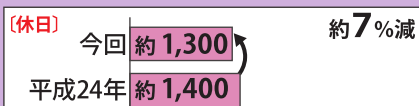
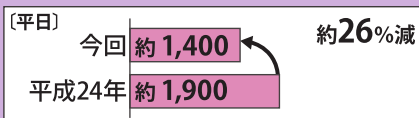
駅前交差点の自転車交通量



単位: 台/12時間



北千住大踏切地点の自動車交通量



単位: 台/12時間

全体的な歩行者交通量の推移

歩行者交通量は、平成24年調査時に比べると全体的に増加傾向にある。電車などの交通の利便性が高いことや北千住の人気向上による来訪者の増加、東京電機大学の増設等によるものと想定される。